

第1章

前期重点プロジェクト

1 前期重点プロジェクトの取組項目について

プロジェクト1	元気な都市再生プロジェクト
総括部署	市民生活部

大都市近郊の住宅都市として、優位な立地を生かした「住みたい」「住み続けたい」まちをめざします。また、豊かな暮らしとまちの活力を支える商業・工業・農業・観光の振興により、交流人口の増加を図るとともに、新たな起業の支援や企業誘致等を進め、地域の活性化を促進します。

【新規追加】

- 耐震改修促進補助制度の拡充 ●新名神高速道路の関連道路における安全灯及び道路標識の設置
- 新名神高速道路（仮称）川西インターチェンジ周辺における民間活力導入に向けた基本計画の策定
- 旧加茂小学校・旧川西高等学校の跡地における活用方策の検討 ●在宅就業の環境整備、女性の起業支援

【継続推進】

- キセラ川西における次世代型複合都市の実現 ●キセラ川西における低炭素型複合施設の整備 ●ふるさと団地の再生に向け、親元近居助成の実施
- 都市計画道路矢間畦野線の工事 ●公共施設等総合管理計画の策定 ●旧北部処理センターにおける清掃事務所等の整備 ●消防本部・防災施設の整備
- 花屋敷団地A・B・C棟の建替えに係る設計 ●中心市街地活性化基本計画（第2期）の推進 ●アステ市民プラザの運営
- 市民ファーマー制度の実施 ●市民体育館の建替え ●事業者等を対象とした提案公募型補助の実施 ●都市計画道路豊川橋山手線の工事
- 市道22号外の改良に向けた設計等の実施

【達成】

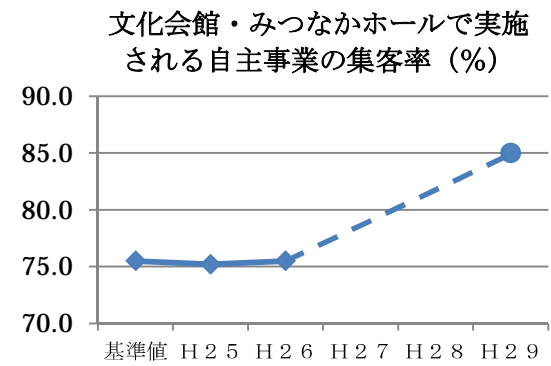
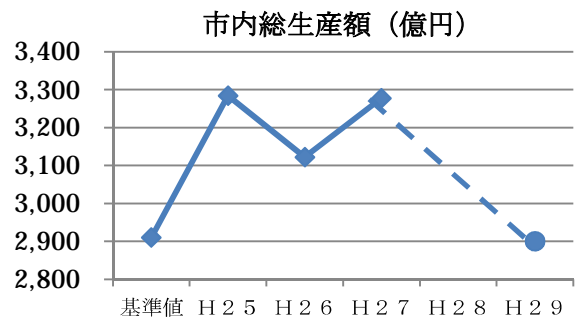
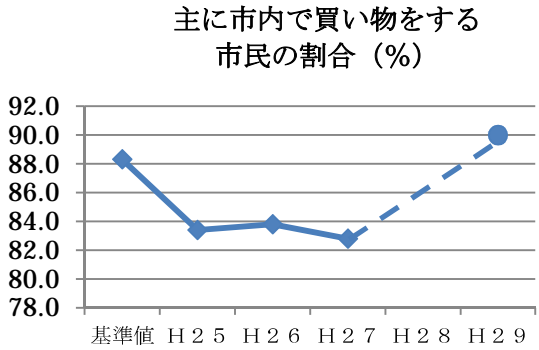
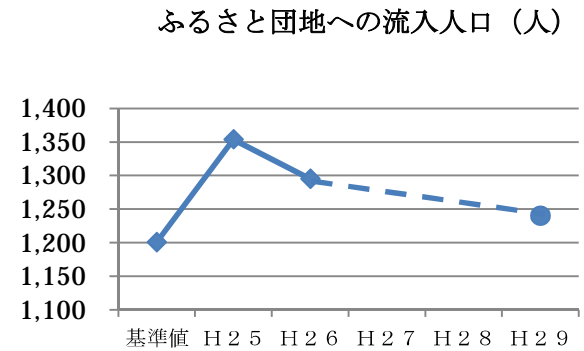
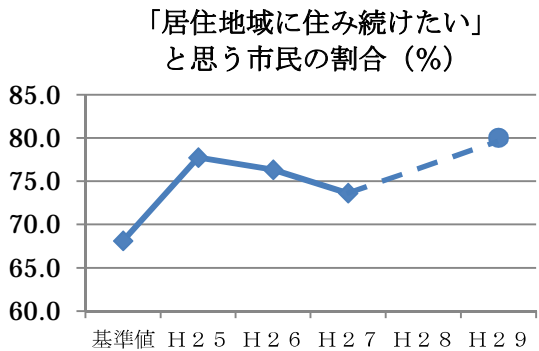
- 市内における消費喚起のためのプレミアム付商品券の発行 ●市民運動場のリニューアル

など

評価指標

名称	方向性	基準値（H23）	直近値（H27）	目標値（H29）	定義
「居住地域に住み続けたい」と思う市民の割合	↗	68.1% (H24)	73.6%	80.0%	市民実感調査より
ふるさと団地への流入人口	↗	1,201人	1,295人 (H26)	1,240人	大和団地、多田グリーンハイツ、清和台地域の流入人口

主に市内で買い物をする市民の割合	↗	88.3% (H24)	82.8%	90.0%	市民実感調査より
市内総生産額	➡	2,910 億円	3,277 億円 (H26)	2,900 億円	兵庫県市町民経済計算より（市町内GDP速報値）
文化会館・みつなかホールで実施される自主事業の集客率	↗	75.5%	75.5% (H26)	85.0%	入場者数÷定員



1 前期重点プロジェクトの取組項目について

プロジェクト2	豊かな水と緑共生プロジェクト
総括部署	都市政策部

恵まれた既存の都市基盤を、発想の転換や知恵と工夫を凝らした有効な活用により、持続可能な住宅都市として再生をめざします。また、豊かな水と緑の自然環境を保全し、次代へと継承していくために、緑化の推進や自然エネルギーの活用など低炭素型のまちづくりを推進します。

【新規追加】

- キセラ川西における中央公園の管理運営手法の検討
- 黒川ダリヤ園の公園化をめざす施設整備に向けた測量の実施
- 市が管理する公園灯のLED化

【継続推進】

- 環境基本計画改定に向けた基礎調査、環境基本計画の改定
- 黒川地区観光資源開発の活用検討
- キセラ川西における低炭素型のまちづくりの推進
- 日本一の里山など豊かな自然環境を次世代へ継承するため、生物多様性かわにし戦略の推進
- 新名神高速道路インターチェンジ周辺において、緑地保全・景観形成を図りつつ、地域の活性化に資する土地利用の実現
- ごみ排出量の削減に向けた減量化施策の検討
- 川西らしい魅力的な景観の形成を進めていくための景観計画の実現

【達成】

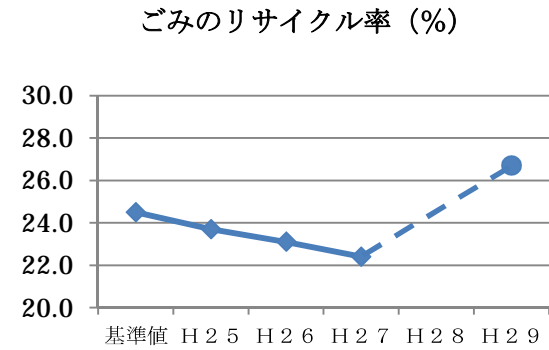
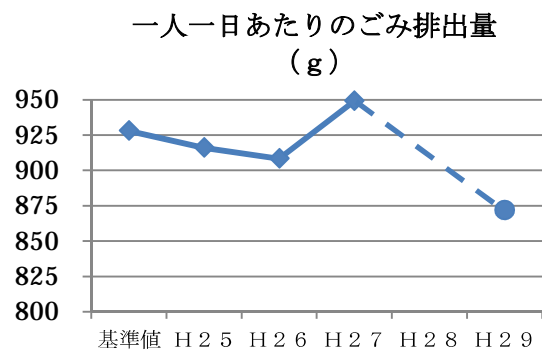
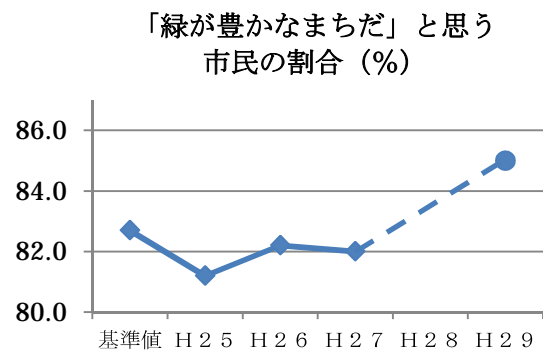
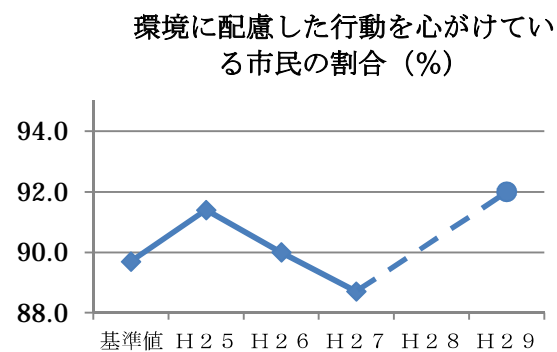
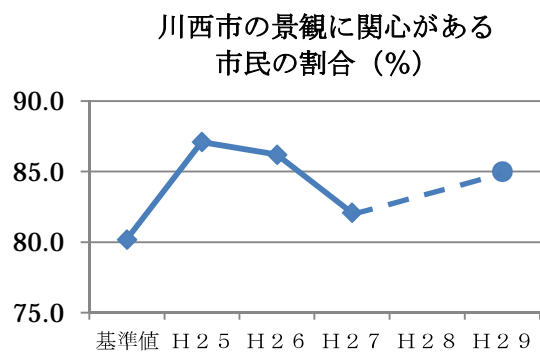
- 市内全域の安全灯のLED化

など

評価指標

名称	方向性	基準値（H23）	直近値（H27）	目標値（H29）	定義
川西市の景観に関心がある市民の割合	➔	80.2% (H24)	82.1%	85.0%	市民実感調査より
環境に配慮した行動を心がけている市民の割合	➔	89.7% (H24)	88.7%	92.0%	市民実感調査より
「緑が豊かなまちだ」と思う市民の割合	➔	82.7% (H24)	82.0%	85.0%	市民実感調査より

一人一日あたりのごみ排出量	↓	928 g	949g	872 g	総ごみ排出量÷365日÷年度末人口
ごみのリサイクル率	↗	24.5%	22.4%	26.7%	資源化量÷総ごみ排出量



1 前期重点プロジェクトの取組項目について

プロジェクト3	こころ豊かな子ども育成プロジェクト
総括部署	こども未来部

安心して産み育てることができる環境整備や、子どもの健やかな成長を地域のつながりの中で育むことができるまちをめざします。また、「人づくり」を基本コンセプトに、知・徳・体を養い、個性豊かなたくましい人材の育成を推進します。

【新規追加】

- 「きんたくんエンゼル積立支援制度」の創設
- 「子育て世代包括支援センター」の設立に向けた連携会議の開催
- 多子世帯、ひとり親世帯の幼稚園・保育所の保育料軽減
- 小学校外国語活動での地域人材活用の拡充
- スクールソーシャルワーカーの配置
- 小・中学校、特別支援学校及び幼稚園における空調設備の整備
- 「配偶者暴力相談支援センター」の設置

【継続推進】

- 中学校給食のあり方を検討、中学校給食の実施に向けた準備
- 留守家庭児童育成クラブの受入対象を拡大するとともに、開所時間の延長を実施
- 妊婦健康診査費助成の実施
- 通院医療費無料化の対象を小学3年生まで拡大
- 緑台中学校区における認定こども園を整備する法人の支援
- 緑台中学校区における地域型保育事業を実施する法人等の公募及び整備に係る支援
- 「きんたくん学びの道場」を全小学校で実施
- 子ども・若者総合相談窓口の継続及び「居場所」づくり
- 小学校等における屋内運動場の天井など落下防止対策に向けた調査及び工事の実施
- 病後児保育施設の運営支援
- 川西市子ども・子育て計画の推進

【達成】

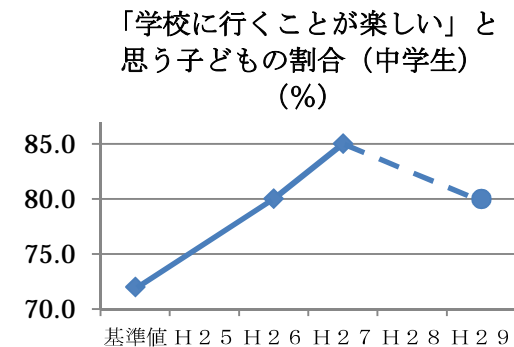
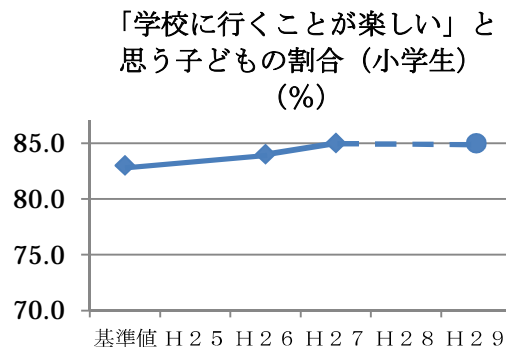
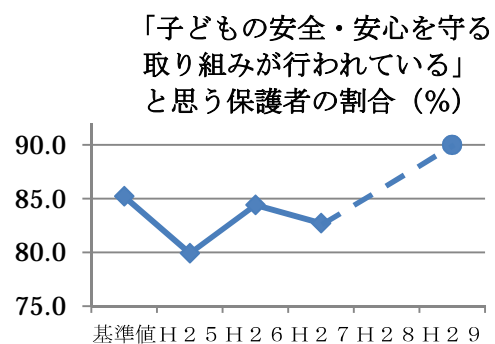
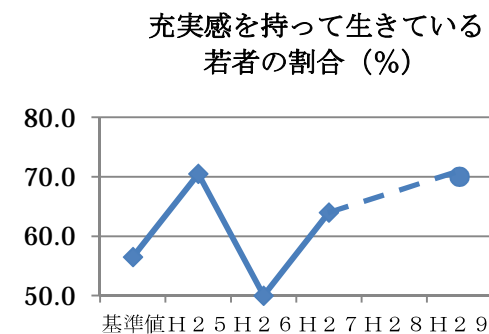
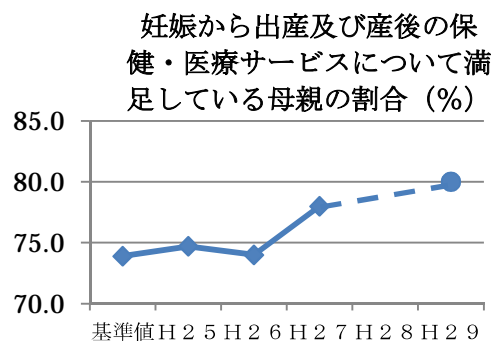
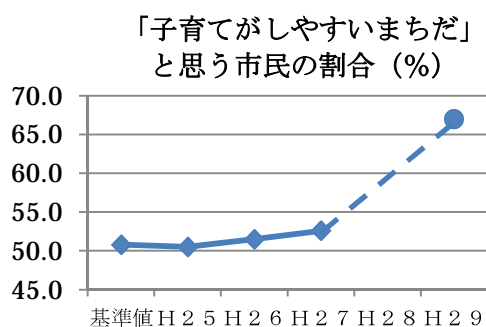
- 病後児保育施設の整備支援
- 清和台・東谷中学校区における小規模保育施設の整備支援
- 子育て世帯に対する子育て応援きんたくんクーポンの発行
- 小学校5校の耐震化・大規模改造工事の実施

など

評価指標

名称	方向性	基準値（H23）	直近値（H27）	目標値（H29）	定義
「子育てがしやすいまちだ」と思う市民の割合	↗	50.8% (H24)	52.6%	67.0%	市民実感調査より ※家族に中学生以下の子どもがいる市民が対象

妊娠から出産及び産後の保健・医療サービスについて満足している母親の割合	↗	73.9% (H24)	78.0%	80.0%	アンケート調査より
充実感を持って生きている若者の割合	↗	56.5% (H24)	64.0%	70.0%	市民実感調査より ※29歳までの市民が対象
「子どもの安全・安心を守る取り組みが行われている」と思う保護者の割合	↗	85.2%	82.7%	90.0%	保護者を対象とした実感調査より
「学校に行くことが楽しい」と思う子どもの割合(小学生)	↗	83.0%	85.0%	85.0%	子どもの実感調査より
「学校に行くことが楽しい」と思う子どもの割合(中学生)	↗	72.0%	85.0%	80.0%	子どもの実感調査より



1 前期重点プロジェクトの取組項目について

プロジェクト 4	いきいき健康・長寿プロジェクト
総括部署	健康福祉部

誰もが住み慣れた地域の中で、健康で安らぎのある幸せな生活を営むことができるよう、保健・福祉・医療の総合的な連携のとれた環境づくりをめざします。また、市民一人ひとりが健康増進の重要性に対し関心と理解を深め、いきいきと心豊かに暮らせるまちづくりを進めます。

【新規追加】

- 「(仮称) 健幸まちづくり計画」の策定に向けた市民アンケート調査の実施
- 公園整備における健康遊具等の設置
- 血管年齢測定器等の新規購入による健幸測定会の実施
- 市立川西病院経営健全化計画の着実な実現に向けた支援
- 「市立川西病院事業経営改革プラン」の策定

【継続推進】

- 「(仮称) 健幸づくり条例」の制定
- 健幸マイレージ制度の拡充
- 「きんたくん健幸体操」の推進
- 市立川西病院における医療体制の充実
- 肝炎ウイルス検診個別勧奨事業の実施
- 歯科医院での妊婦歯科検診の無料化
- 市民の健康意識啓発や食育を推進するイベントの実施
- 要介護高齢者に対する訪問歯科診療の実施と訪問口腔ケア事業の充実
- 小規模多機能型居宅介護施設整備に対する補助
- 保健センターにおける医療機器等の更新

【達成】

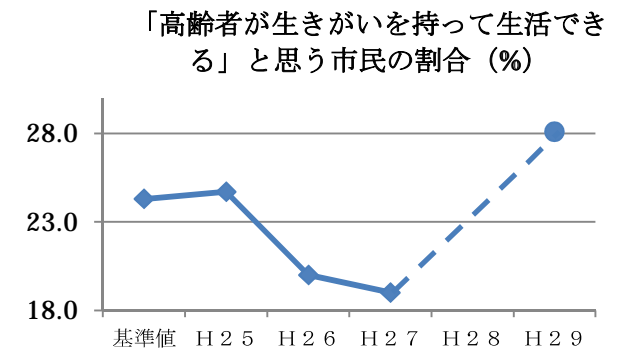
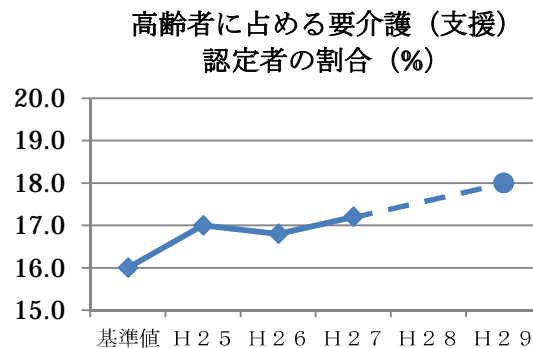
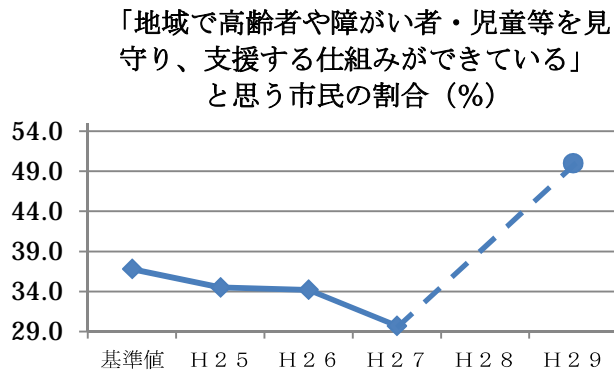
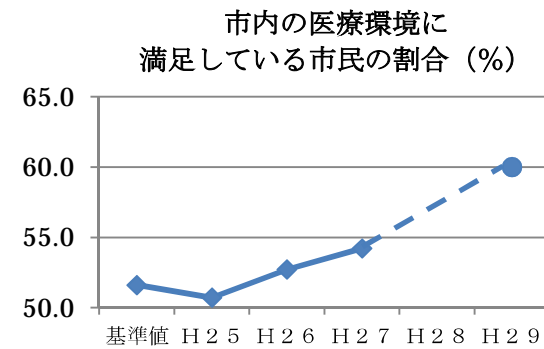
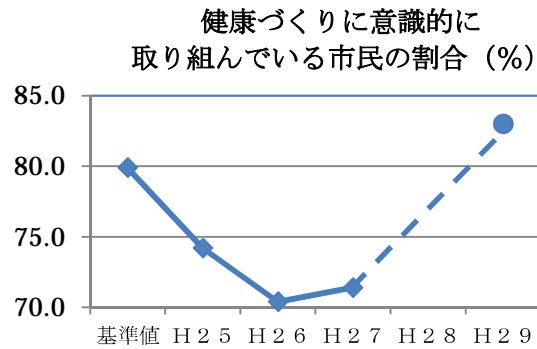
- 市立川西病院における地域医療支援病院の兵庫県知事からの承認
- 地域包括支援センターの増設

など

評価指標

名称	方向性	基準値 (H23)	直近値 (H27)	目標値 (H29)	定義
健康づくりに意識的に取り組んでいる市民の割合	↗	79.9% (H24)	71.4%	83.0%	市民実感調査より
市内の医療環境に満足している市民の割合	↗	51.6% (H24)	54.2%	60.0%	市民実感調査より

「地域で高齢者や障がい者・児童等を見守り、支援する仕組みができていいる」と思う市民の割合	↗	36.8% (H24)	29.7%	50.0%	市民実感調査より
高齢者に占める要介護（支援）認定者の割合	↘	16.0%	17.2%	18.0%	65歳以上の介護保険被保険者のうち、要介護（要支援）認定者の割合
「高齢者が生きがいを持って生活できる」と思う市民の割合	↗	24.3% (H24)	19.0%	28.1%	市民実感調査より



1 前期重点プロジェクトの取組項目について

プロジェクト 5	川西の魅力発見・発信プロジェクト
総括部署	総合政策部

様々なまちづくりの主体者が活動を広げながら互いにつながり、川西らしさや魅力を創出し、全国へと発信していく中で川西市のブランド力を高め、誰もが誇れるまちをめざします。また、まちづくりの推進にあたっては、参画と協働を基調として、市民等と行政が適切な役割分担のもとで、地域の特性や多様性を尊重したまちづくりを進めます。

【新規追加】

- Wi-Fi 環境整備の可能性検討 ●このまちで幸せになろうプロジェクトの実施に向けた検討
- 地域づくり一括交付金による地域の先駆的事業に対する支援 ●コミュニティ活動拠点の整備に対する補助制度の創設

【継続推進】

- 「あんばい ええまち かわにしプロジェクト」の展開 ●「あんばい ええまち かわにし創生総合戦略」の推進
- 地域づくり一括交付金の交付 ●地域づくりアドバイザーの配置 ●「(仮称)市民の幸せ憲章」の制定
- 「のせでんアートライン妙見の森」の開催支援 ●まちづくりについて自由な雰囲気意見交換できるラウンドテーブルの開催
- まちの資源を発掘し、魅力を創造・発信するシティープロモーションを展開 ●社会的課題や地域課題を解決する市民協働事業提案制度の実施
- 地域分権制度における組織運営、地域別計画策定・実施の支援 ●地域担当職員の配置 ●広報誌の充実

【達成】

- 地域分権制度の創設に向けた地域分権推進基本方針の策定 ●地域分権の推進に関する条例の制定 ●市民協働事業提案制度の創設

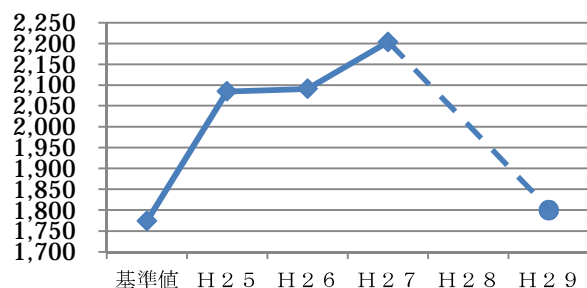
など

評価指標

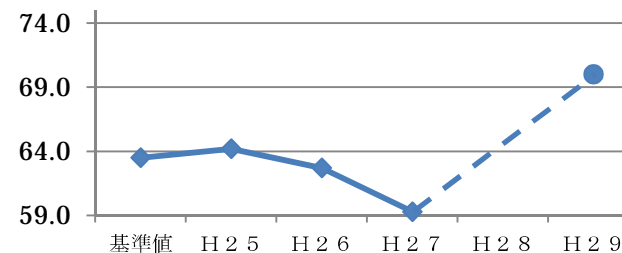
名称	方向性	基準値 (H23)	直近値 (H27)	目標値 (H29)	定義
観光客入込数	↗	1,774 千人	2,203 千人	1,800 千人	兵庫県観光客動向調査より(観光施設を抜粋)
川西の歴史・文化財に興味がある市民の割合	↗	63.5% (H24)	59.3%	70.0%	市民実感調査より

自治会やコミュニティ、ボランティアやNPOの地域づくり活動によって、お互いに支え合っていると思う市民の割合	↗	59.8% (H24)	51.3%	70.0%	市民実感調査より
ふるさとづくり寄附金の受入件数	↗	12件 (H24)	3,561件	150件	個人寄附と団体寄附の合計件数
社会増減数(転出入)に占める生産人口割合	→	4.7	-2.16	4.7	転入者に占める生産人口割合-転出者に占める生産人口割合

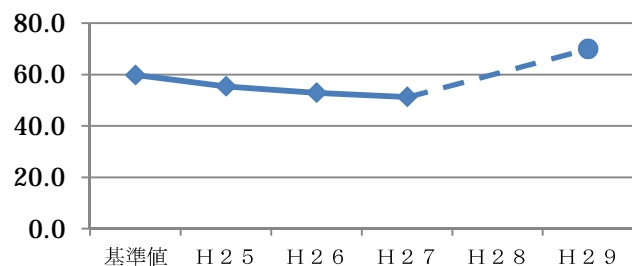
観光客入込数(千人)



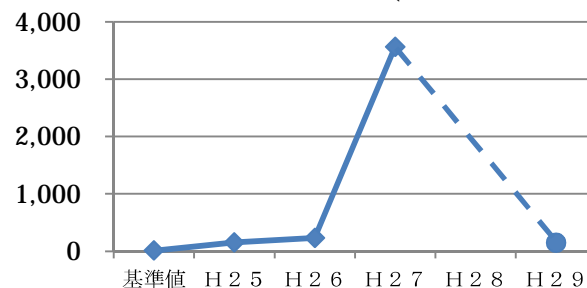
川西の歴史・文化財に興味がある市民の割合 (%)



自治会やコミュニティ、ボランティアやNPOの地域づくり活動によって、お互いに支え合っていると思う市民の割合 (%)



ふるさとづくり寄附金の受入件数(件)



社会増減数(転出入)に占める生産人口割合

